



志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校
令和元年度学校だより
第 13 号
令和2年2月28日発行

一日一日を大切に

3月、4月並みの暖かさを感じる日もあれば、急に冷え込む日もあり、まさに三寒四温。春一番が吹いた地方もあり、もうすぐ春本番です。このところ、連日、新型コロナウイルス感染症について報道されています。対処については、手洗い、咳エチケット等の徹底といった一般の感染症対策を行うことや、発熱等がある場合には無理をしないことなどが挙げられますが、誤った知識や不正確な情報に惑わされないことも重要です。流行の一日も早い終息を願いつつ、自分たちのできる対応に精一杯努めたいと思います。

2月16日(日)には、6年生を送る会を行いましたところ、休日にもかかわらずたくさんの保護者の皆様、地域の皆様においでいただき子どもたちの発表を見ていただきました。今までたくさんの素敵で志楽小学校をリードしてきた6年生に、1年生から5年生それぞれが「ありがとう」の気持ちを込めて、一生懸命な姿で臨みました。特に5年生は、計画の段階から皆で6年生への感謝をどのように表すかを話し合い、下級生とともに準備を進めました。それぞれの学年が、この1年間のがんばりや成長を見せることが6年生へ感謝の気持ちを伝えることになると信じ、発表の練習を行ってきました。

それぞれの発表に向けては、子どもたちが自分たちで工夫を重ね、話し合い、練習をする姿が多く見られました。子どもたちならではの発想が活かされた場面を多く見ることができた送る会になりました。また、一人一人の声が大きく、保護者の皆様の席まで届いたのではないのでしょうか。保護者の皆様や地域の皆様が、子どもたち一人一人の声や動作に熱心に見入っていただいたことも、励みになったに違いありません。自信を持って堂々と発表する姿が頼もしく感じられました。6年生の男の子が「今年の送る会が今までで一番よかった。」と話してくれました。こすもす学級をはじめ、1～5年生すべての発表、そして自分たちの発表が素敵だったことはもちろんですが、会場皆の気持ちが一つになって伝わったのではないかとうれしく思いました。温かい眼差しと拍手をありがとうございます。

さて、6年生の卒業、1～5年生までの進級まであとわずか。それぞれの学年で、今年度のまともに励んでいます。1年間の学習の中で様々な体験を積んできた子どもたち。体験に終わらせず、経験として、学びとして子どもたちの身に付けていくべく、自分たちの成長を振り返らせるとともに、次への意欲につながるよう、一日一日を大切に過ごさせたいと思います。そして、「がんばった」と言える一年として終わることができるよう、教職員一同取り組んでいきます。どうぞ、ご支援・ご協力ください。

校長 小森 昌子
教職員 一同



ダイヤモンドパトロール隊・補導委員の皆様
図書ボランティアの皆様
出前授業や農園での活動、授業のサポートをしていただいた皆様

いつもありがとうございます。

今年度も、学校では多くの地域の皆様に学習支援や登下校の見守りをお世話になっています。いつも、子どもたちに寄り添いながら支援をいただいていますこと、本当にありがとうございます。様々な教育活動を進める上で、地域の方や保護者の皆様のご協力やご支援は欠かせません。

来年度から本格実施される学習指導要領でも、地域に開かれた教育課程づくりが不可欠とされているところです。今後、ますます、地域の皆様のご支援をいただき、ともに子どもたちを育てていきたいと思っております。

つきましては、来年度新たに、学校の教育活動を支援いただける皆様の募集しています。

本の読み聞かせ、登下校の見守りや畑の手入れなどお世話になれませんか。学校 62-4690 までご連絡いただくと幸いです。よろしく申し上げます。